

平成24年度第1回いきいきプラン八王子推進委員会

日 時 平成24年6月1日(金) 午前10時
会 場 八王子市役所 805会議室

次 第

1. 委員自己紹介

2. 事務局紹介

3. 計画概要について

4. 議題

(1) 委員長・副委員長の互選について 資料なし

(2) 平成23年度計画実施状況の総括について 資料1

(3) 平成24年度計画実施に向けた取り組みについて 資料1

5. その他

(1) 平成24年度会議日程について 資料2

「平成23年12月～平成24年3月6圏域の動き及び出された意見等」・・・別紙1

「平成23年度中の委員会では出された意見を受けての対応」・・・別紙2

いきいきプラン八王子推進委員会進捗状況評価基準

<評価基準>

評価	判断基準
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 順調なもの ・ 問題がないもの
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね順調なもの ・ 多少の遅れ等があるが、計画の実現が可能なもの
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ かなりの遅れがあるもの
D	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の見直し、検討が必要なもの

平成23年度計画実施状況の総括 及び 平成24年度計画実施に向けた取り組み

<地域福祉活動計画>

No	行動項目	行動内容	計画内容				平成23年度総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)
			H22	H23	H24	H25		
1	住民懇談会の開催	住民懇談会の開催	3ヶ所×2回	6ヶ所×2回	12ヶ所×2回	24ヶ所×2回	B 6月より6圏域に職員2名づつを配置し地区担当制を導入。各圏域内の関係機関・住民組織へプランの説明を通じて協力依頼、意見交換を行った。 ・民生委員協議会18回 ・町会自治会連合8回 ・包括支援センター10回 ・単一町会自治会3回 計39回 実質的な懇談は少なかったものの、地域活動を進めていくうえで個人情報の開示(提供)への意見が多く出された。(主に町会関係) *別紙1参照	12か所 24回開催 ・町会、老人会、関係機関等が参加する包括支援センター会議、見守りネットワーク会議等への参加 ・町会自治会単位での懇談
2	サロン活動の拡充	高齢者サロン活動・子育てサロン活動の拡充、障害者サロンの検討・実施	80ヶ所	90ヶ所	100ヶ所	110ヶ所	A 平成23年度末サロン数:94団体 (高齢者81団体・子育て13団体) (前年度比:7団体増) 増加はしているものの、23年度末に活動停止する団体(2団体)も出てきている。原因は中心スタッフの転居と後継者不足。	サロン数:104団体 (高齢者90団体・子育て14団体) ・新規立ち上げ相談・支援 ・サロン支援金の交付
3	サロン活動の拡充	サロン活動連絡会の設置	検討	検討・開催	開催	開催	B ・高齢者サロン交流会 開催:7回 地域包括支援センター8エリアで交流会を実施。近況報告、それぞれの課題に対する意見交換を実施。今後定期開催を確認。その他、包括片倉が主催する交流会(2回)に参加。 ・子育てサロン 開催:1回 近況報告とそれぞれの課題に対する意見交換を実施。 ・課題:スタッフの拡充や参加者の固定化、イベントのマンネリ化などが課題としてあった。包括支援センターからは、サロンに参加される高齢者の介護予防の啓発、個別相談等にサロンの効果を挙げられた。 ・サロン団体の組織化、すなわち「連絡会」については消極的意見もあった。	交流会の定期的開催と研修の実施 高齢者サロン ・包括支援センターエリアごとにサロン交流会の実施 ・全体交流会の実施 子育てサロン ・全体交流会の実施 連絡会の設置
4	サロン活動の拡充	ひとりぐらし高齢者昼食交流会	実施	実施	充実	充実	A 民生委員児童委員協議会20地区26会場で実施した。 対象者数の増加に伴い、地域内での会場確保が難しくなっているため、今後のあり方について検討する必要性が生じてきた。	民生委員児童委員協議会20地区でひとりぐらし高齢者昼食交流会を開催 平成25年度以降のあり方を検討するために、あり方検討委員会を開催

No	行動項目	行動内容	計画内容				平成23年度総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)	
			H22	H23	H24	H25			
5	小地域福祉活動の活性化	支えあいの仕組みづくりの検討	先進地域との 情報交換実施	マニュアル づくり	啓発	啓発	B	<p>・小地域福祉団体情報交換会 開催:2回 7団体の参加を得て実施。1回目は各団体の活動開始のきっかけ、現在の活動状況、課題等報告。2回目は北区の取り組みの事例報告と意見交換を実施。市域での支えあい活動の拡充を、社協と協力し発信していこうとする共通認識を持つことができた。団体相互の連携のベースができた。</p>	<p>定期的開催(3か月に1度) 啓発資料作成に向けた取り組み</p> <p>・出張講座による啓発</p>
6	小地域福祉活動の活性化	ビジネス手法を取り入れた地域活動 活性化の検討	検討	実施	充実	充実	B	<p>多摩社会企業研究会(法政大学、市民活動支援センター、障害者団体)に参加し、ビジネス手法を取り入れた活動について学習、検討をした。</p>	<p>調査研究・検討の継続</p> <p>・法政大学、市民活動支援センター、障害者団体等と引き続き検討する</p>
7	地域福祉活動担い手講座 などの開催	地域福祉活動入門講座の開催	検討	開催	開催	開催	B	<p>例年の「高齢社会に生きるボランティア講座」を見なおし、「地域で活かすボランティア活動」を副題に開催日数(3日→5日)、内容(学識経験者の講演、グループワークと活動紹介)を見なおし開催。(11月～12月) 修了者12名(登録6名)と少なかったが、最終日にボランティアニーズを複数紹介し、受講後の活動への導入が図れた。 開催にあたっては包括支援センター(中野、ゆうゆう、左入)と連携協力が図れた。</p>	<p>日常生活圏域での講座の開催</p> <p>・講座のプログラムの検討 ・講師の依頼、スケジュール調整、広報等</p>
8	地域福祉活動担い手講座 などの開催	テーマ別ボランティア講座の開催	検討	開催	開催	開催	B	<p>・傾聴ボランティア講座 基本編(5月・1日):148名修了 スキルアップ編(11月～12月・4日間):66名修了スキルアップ最終日にはグループワークを取り入れ、意見交換を実施。希望者への活動先調整(28名)を順次実施。 ・精神保健福祉ボランティア講座(1月～2月・6日間):40名修了 ボランティアグループ(いっぽの会)の協力で実施運営。修了者のうち16名が登録し、いっぽの会に加入。両講座とも受講者が多くなっている。受講後の活動は施設やグループ活動が中心となっている。担い手の裾野は広がっていると考えられる。</p>	<p>現行講座の継続開催</p> <p>・傾聴ボランティア講座の開催 ・精神保健ボランティア講座の開催</p>
9	地域福祉活動担い手講座 などの開催	世代別ボランティア講座の開催	検討	開催	開催	開催	B	<p>・青年ボランティア体験活動 活動者:167名(前年比20名減) 約6割が高校生(103名)で、次いで大学生(41名)、中学生(15名)、社会人(8名)となっている。</p>	<p>現行講座の継続開催</p> <p>・青年ボランティア体験学習の開催</p>

No	行動項目	行動内容	計画内容				平成23年度総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)
			H22	H23	H24	H25		
10	地域福祉活動担い手講座などの開催	サロン活動担い手養成講座の開催	—	検討	開催	開催	B ・新規サロン立ち上げの要望に対し、サロン事業担当と圏域担当が共に地域に入り、サロンの効果や運営方法を伝えながら新規開設にもちこむ手法をとっているため、担い手発掘を目的とする講座開催については未検討である。 ・社協だより等で地域へのサロン啓発(担い手発掘や効果効果)を行い、新規サロン数は増加している。	・新規サロン立ち上げ支援の継続 ・サロン交流会の意見から、担い手(スタッフ)の高齢化と活動のマンネリ化が垣間見えてきた面があるため、現在活動中のサロン活性化を優先した研修を開催
11	地域福祉活動のコーディネート機能の充実	ボランティアリーダー養成講座の開催	検討・開催	開催	開催	開催	B ・地区リーダー研修:2回開催 災害ボランティアセンターの報告(1回目)、講演-地域福祉とボランティア活動(2回目)を実施。 全体として地区活動が停滞している。地区活動で何を指すのか明確な目標が持っていない。サロン活動や施設訪問など、活発に行っている地区もある。 ボランティアの高齢化が一因で、リーダーを選出できない地区もある。	2回開催 ・リーダー養成講座
12	地域福祉活動のコーディネート機能の充実	地域福祉活動コーディネートの充実	人材の発掘・育成	充実	充実	充実	C 地区担当制を導入し、社協のコーディネート体制を整えた。しかし、住民の人材発掘には至っていない。 今後、地区担当職員を中心に、住民や関係機関との懇談を重ねながら小地域福祉活動-サロンや支えあい活動の、立上げ、活性化、研修の場を創出し人材の発掘を図る。 高齢者、障がい者等の個別の生活支援を通じて地域福祉推進を図る視点も必要。現状ではニーズの拾い上げ方法や社協内セクション相互の連携不足がある。	小地域福祉活動の活性化 研修の場の創出
13	見守り・相談機能の充実	よろず相談の開催	—	検討	年6回開催	年12回開催	C 未検討(ネットワーク型による地域福祉推進協議会の活動展開方法等が固まった時点で、必要に応じ検討するため)	内容の検討
14	防災への取組	防災福祉マップづくり	—	検討	実施	実施	C 未検討(ネットワーク型による地域福祉推進協議会の活動展開方法等が固まった時点で、必要に応じ検討するため) *中野町甲和会で作成している防災マップの次期改訂への参画を調整	中野町甲和会防災マップ改訂への参加
15	防災への取組	地域防災訓練の開催	—	検討	実施	実施	C 未検討(ネットワーク型による地域福祉推進協議会の活動展開方法等が固まった時点で、必要に応じ検討するため)	住民懇談会のテーマとして検討 ・八王子市総合防災訓練への参加

No	行動項目	行動内容	計画内容				平成23年度総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)
			H22	H23	H24	H25		
16	災害時支援	災害時支援ボランティアコーディネーターの育成	継続	継続	継続	継続	B ・研修会の開催 災害用カードゲーム「クロスロード」を使用し、災害ボランティアセンタースタッフとしての役割や行動について意見交換を実施。 ・災害ボラセン運営訓練の実施 市総合防災訓練に参加し、受付、マッチング、ニーズ調査等のシミュレーションを実施。	研修会の開催 ・八王子市総合防災訓練への参加 ・研修会の開催

<社協発展・強化計画>

17	社協会員制度	会員会費を徴収した地域圏に一定割合を還元	検討・規程整備	実施(2地区)	実施(4地区)	C 地域圏の福祉展開を束ねる「地域福祉推進協議会」が出来ていない現状においては、還元方法や活用の仕方について、検討することは時期尚早ではと考えている。今は、会員会費の大部分を地域に還元できるようにするため、会費に頼らない事業運営や会費に代わる財源確保について、検討し実施する時期であるとと考えている。	会員会費の使途を見えやすくし、市民にとって理解されやすい・加入しやすい会費制度づくり ・理解されやすく加入しやすい会費制度に向け事務局レベルで準備 ・必要に応じて外部委員による委員会の設置・運営 ・具体的な推進方法、体制や影響の検討 ・関係団体等の調整
18	社協会員制度	団体及び企業会員区分の新設	検討・規程整備	実施(H22対比、10%増)		C 団体・企業会費制度を検討するために、会員会費あり方委員会の設置に向けて市内にある団体・企業等の効果的な選定方法を模索中で、設置に至っておらずスケジュールに遅れが出ている。	団体・企業会員会費制度づくり ・理解されやすく・効果がある・加入しやすい法人会員制度に向け事務局レベルで準備 ・必要に応じて外部委員による委員会の設置・運営 ・具体的な推進方法、体制や影響の検討 ・関係団体等の調整
19	理事会・評議員会のあり方	新任理事・評議員への研修体系の確立	検討・研修体制整備・実施	充実		A 新任の評議員会が集う、初めての評議員会の開催前に「就任時評議員研修会」を実施した。本会の沿革や役割などについて、改めて研修いただき、市民の各層を代表して本会運営に参画する意義について、よりご理解をより深めていただき、これまで以上に積極的に本会運営に携わっていただけると考える。	自立した経営体制や市民ニーズに則した運営体制づくり ・役員(理事・評議員会)の改選 ・新任役員の新任研修開催
20	理事会・評議員会のあり方	議論の活性化	検討・実施	充実		A 事務局からの説明や提案について、説明や資料を分かりやすくすることに努めた。その結果、評議員会での発言が以前に比べて大幅に増えている。(22年度7/34≒0.2発言/議案→23年度18/13≒1.3発言)	自立した経営体制や市民ニーズに則した運営体制づくり ・引き続き、分かりやすい資料提供や説明を行ない、評議員が議論しやすい環境整備を行なう。(事務局・議長段階) ・必要に応じて活性化の検討(三役会・理事会・評議員会) ・意見の集約、対応策の検討、提案(三役会・理事会・事務局) ・取組の実施(評議員会)

No	行動項目	行動内容	計画内容				平成23年度総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)
			H22	H23	H24	H25		
21	理事会・評議員会のあり方	理事・評議員会の選出区分や選任数の見直し	検討・関係団体との調整	必要に応じ実施			B 平成23年12月1日の民生委員・児童委員の一斉改選に伴い、民生委員の地区割りが4地区増やされ、20分割された。この4地区増えた民協地区会長の枠を評議員に求めるため、評議員の選出区分及び構成数の一部改正を行った。なお、この改正により他の団体については、役員・評議員の構成の総数からは影響がでないようにした。	自立した経営体制や市民ニーズに則した運営体制づくり ・次期役員改選に向け検討 ・学識経験者の枠を減らし、個人的かかわりから団体からの推薦方式に切り替えを目指し、継続的な理事会・評議員会の運営を目指す。
22	理事会・評議員会のあり方	経営管理理事の見直し	検討・関係団体との調整	必要に応じ実施			C 人件費に係る部分もあり、自主財源が乏しい本会にとっては、早々に結論が出ない。具体的方法を検討するにあたり他地区の状況を参考にしていける必要があり、結論を出すには時間を要する。	自立した経営体制づくり ・自立した経営体制づくりの検証(事務局段階において他地区の状況把握や検証) ・必要に応じて八王子市と協議 ・必要に応じて予算要望
23	部会・委員会等のあり方	地域福祉推進協議会の設置や部会の再編	検討・規程整備	開催(2地区)	開催(4地区)		B 6月より6圏域に職員2名づつを配置し地区担当制を導入。各圏域内の関係機関・住民組織へプランの説明を通じて協力依頼、意見交換を行った。設置すべき地域福祉推進協議会の形態等について職員間で共有するに至っておらず、地域福祉推進協議会の設置に向けた動きは停滞した。 *別紙1参照	地域福祉推進協議会設置 ・設置すべき地域福祉推進協議会の形態についての検討 ・各圏域の地域特性や福祉活動の実態、ニーズの把握 ・圏域内の福祉ネットワーク化
24	指定管理者制度への対応	本会における指定管理者制度受託のあり方検討委員会の新設	検討・規程整備	設置答申(恩方・長房)	実施		— 次期選定2年前に設置する検討委員会に向けて情報収集をした。	次期選定2年前に設置する検討委員会に向けて情報収集
25	新たな事務局体制	事務局体制の改編及び現行事業の見直し	検討・規程整備・実施(地域福祉推進課設置)	充実			C 現状での事業の見直し部分も徐々にではあるが、市の意向を含め調整したものもあるが、大きく変更すべき点までに至っていない。事務局内の担当名の変更を行ったが、さらに内部でも検討が必要である。未着手部分もあり遅れをみている。	委託事業の展開に際し、総合的な専門職に関するラインの統一化を図ると共に、各業務の見直しを図る必要性を市担当所管課とも調整をし方向性を見出す ・共通課題に対する確認と指導・指針の統一化
26	新たな事務局体制	コミュニティソーシャルワーカーの任命	実施(モデル地区)	実施(1地区)	実施(4地区)	充実	A 前年度の北部圏域での展開を通じて、地域福祉推進協議会設置に向けた準備に時間を要することが見込まれたため、各圏域2名のコミュニティワーカーの任命をし、各圏域内の関係機関・住民組織へプランの説明を通じて協力依頼、意見交換を行った。 *別紙1参照	地域福祉活動の活性化 ・設置すべき地域福祉推進協議会の形態についての検討 ・各圏域の地域特性や福祉活動の実態、ニーズの把握 ・圏域内の福祉ネットワーク化

No	行動項目	行動内容	計画内容				平成23年度総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)
			H22	H23	H24	H25		
27	新たな事務局体制	地域福祉活動推進員の配置	検討・実施 (モデル地区)	実施(1地区)	実施(4地区)	充実	C	地域福祉推進協議会の設置の遅れから、協議会との関係性、役割が事務局内で共有できておらず、配置には至っていない。 ・役割、地域福祉推進協議会との関係性の検討 ・リーダー養成講座 ・講座のプログラムの検討 ・講師の依頼、スケジュール調整、広報等 ・講座の開催 ・町会自治会、ボランティアグループ等との協議継続
28	権利を擁護する体制の確立	権利擁護(含む成年後見支援)センターの設置	検討・規定整備 ・設置・実施	充実			C	八王子市として成年後見制度の対応を検討し、その上でセンター化へ進みたいとの八王子市の意向もあり、八王子市の対応を見守ることになった。 八王子市と協議(担当所管の変更予定のため)
29	権利を擁護する体制の確立	後見監督業務の実施	検討	要領等の 整備実施	充実		A	・フォローアップ研修を継続して実施した。 ・法人後見監督事業を実施するにあたり下記の規程の整備と会議を発足させた。 「法人後見監督事業実施要領」・「後見人候補者推薦にあたっての選任基準の制定」 「市民後見人受任検討会」の発足 ・市民後見人候補者のフォローアップ研修の引き続き実施 ・法人後見監督事業の実施
30	権利を擁護する体制の確立	他界後の事務支援の検討	検討	必要に応じ実施			C	権利擁護センターとしての実施の検討を考えていたため、八王子市の対応を見守ることになった。 他界後の事務支援の検討 ・八王子市と協議
31	事務局拠点のあり方	拠点のあり方について検討	検討・提案	必要に応じ実施			C	本会事務局の主要な事業所は市役所本庁舎にある事務局と元横山町にあるボランティアセンターがあり、分断されていることから、事務の効率性や意思疎通に少なからず悪影響を及ぼすと考えている。一刻も早く、全担当が一堂に会し一体となれる恒久的な地域福祉推進の拠点確保を望むが、多額の資金を必要とするゆえに本会独自では展開しづらく、また、市の意向などを見極める必要があり、展開方法やタイミングに苦慮している。 市民が「相談しやすい」、「利用しやすい」場所に事務局拠点を移設する方向性を打ち出す ・ボランティアセンターとの一体化を八王子市へ要望
32	人材育成の仕組みづくり	研修制度の充実	検討・整備・実施	充実			B	本会の業務内容は、福祉ニーズの多様化や複雑化により専門性が増している。このような状況から、いかに効率的かつ体系的にこれに対処できる知識やスキルを伝承できるかが大きな課題である。この課題対応には、低い離職率や業務量の適正化を図るとともに、一部に見られるセクショナリズムや職種のちがいで生じる意識のちがいをいかに克服できるかにかかっている。 全職員が一定の人材育成の方向性に基づく研修体系の整備化・実施 ・社協検討会や各担当内ミーティングの実施 ・昼窓や繁忙期の共同作業の実施 ・担当を超えたOJTの実施 ・効果的な研修体制の体系化検討・実施 ・職員の資格取得の奨励(職免制度の活用) ・職員情報のデータベース作成

No	行動項目	行動内容	計画内容				平成23年度総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)
			H22	H23	H24	H25		
33	人材育成の仕組みづくり	共に育つ職場づくり	検討・整備・実施		充実	B	<p>本会の業務内容は、福祉ニーズの多様化や複雑化により専門性が増している。このような状況から、いかに効率的かつ体系的にこれに対処できる知識やスキルを伝承できるかが大きな課題である。この課題対応には、低い離職率や業務量の適正化を図るとともに、一部に見られるセクショナリズムや職種の違いから生じる意識のちがいをいかに克服できるかにかかっている。</p>	<p>共に育つ職場づくりの基礎作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協検討会や各担当内ミーティングの実施 ・昼窓や繁忙期の共同作業の実施 ・担当を超えたOJTの実施
34	人材育成の仕組みづくり	人事管理	検討・関係団体との調整		必要に応じ実施	B	<p>社協内部の人事異動は、全職員が業務全般を把握するためには必要な事項であるが、遅れていると認識している。平成23年には、人事交流の意味で一部の異動を予定した。更にお互いを高めある程度の専門性を身につけさせる等今後もその管理を実施し、本人のスキルアップに協力を図りたい。</p>	<p>業務遂行上、その必要性を図るため、内容、業務は専門性を鑑みて、融資格者の採用を今後も検討していく。多方面との調整には制度、サービス、関連法の知識は必要不可欠で、さらに自己研鑽とスキルアップを図ることとする。</p>
35	財務	「特定寄付制度」「メモリアル寄付」の創設やメニューづくり	検討・整備・実施		充実	A	<p>東日本大震災の被災地は、本市より遠く支援ボランティア活動を行なうには交通費だけでも最低1万円程度掛かり、個人のボランティアには負担が大きいことが分かった。このような状況から個人に対する助成制度の必要性を感じ、その原資を市民からの募金に求めた。この募金活動は時代のニーズ、緊急性の高いもの考え、募金目標を本市人口の0.1%の市民を派遣できるよう560万円と設定し、8/15より募金活動を開始、多くの市民のご協力をいただき、3月末日まで概ね目標額(559万8,724円)に達することができた。</p>	<p>寄付者の意向が伝わる寄付制度づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も寄付者の意向が伝わりや時代のニーズにそくした特定寄付制度の提案や実施 ・寄付するきっかけにつながる寄付制度(メモリアル・香典返し)の実施 ・市民等から提供申し出のあった物品や寄付品の福祉施設などへのマッチングの実施 ・寄付のメニュー化や税控除など市民に分かりやすく広報 ・時代に即した寄付受入や実施体制の検討・整備
36	財務	身近に気軽に寄付・募金できる環境整備	検討・整備・実施		充実	B	<p>寄付や募金の浸透や定着のため、可能な活動を実施した。</p>	<p>身近に気軽に寄付・募金ができる環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄付者の意向が伝わる特定寄付制度の実施 ・寄付するきっかけにつながる寄付制度(メモリアル・香典返し)の実施 ・市民等から提供申し出のあった物品や寄付品の福祉施設などへのマッチングの実施 ・寄付のメニュー化や税控除など市民に分かりやすく広報 ・市民が主体的に実施する募金活動の支援 ・時代に即した寄付受入や実施体制の検討・整備
37	財務	住民が主体的に募金するシステム構築	検討・関係団体との調整	再構築	充実	B	<p>平成23年4月に共同募金八王子地区協力会を再編し、赤い羽根共同募金配分推せん委員会を設置した。</p>	<p>赤い羽根共同募金地区配分推せん委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の開催

No	行動項目	行動内容	計画内容				平成23年度総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)
			H22	H23	H24	H25		
38	財務	事業収入の強化	検討・関係者との調整	必要に応じ実施	充実	C	<p>利用料などの値上げにつながる議論に対しては、利用者のみならず担当職員の抵抗が強く、検討のテーブルすら設けられていない。</p> <p>・現行の事業収入の現状検討(適正化) ・早急に適正化が必要な事業収入の選定 ・必要に応じて適正化に必要な手続きの検討 ・必要に応じて利害関係者との調整</p>	
39	財務	収益事業の拡大	検討・関係団体への働きかけ	実施	実施	B	<p>平成23年10月より、八王子駅南口総合事務所内に証明写真機1台を設置するとともに、平成24年度より初めての民有地での自動販売機の設置に向け関係者と協議している。</p> <p>・自販機・証明写真機設置事業の拡大を検討 ・その他、財源確保につながる収益事業の研究 ・必要に応じて実施方法の検討・整備 ・自動販売機設置事業の更新入札準備 ・自動販売機設置事業の更新入札の実施</p>	
40	財務管理	内部けん制の強化	検討・規程整備	実施	充実	A	<p>会計的な監査のみならず、事業の実施状況についても点検・評価を行っていただき、総合的な包括的な運営の監査を実施して、より市民から信頼される社協づくりに寄与した。</p> <p>・監事による決算監査の実施(5/21) ・不祥事故防止体制の充実 ・事務局内部による月例監査の実施</p>	
41	財務管理	情報公開の強化	検討	実施	充実	B	<p>市民の代表者が集う理事・評議員会をはじめ社協だよりやホームページを通じて、本会の運営について広く情報公開を行った。それは財政的な援助を受けている八王子市の情報公開基準にも概ね適用しており、市民から開かれている社協という認識につながっている。</p> <p>・市民の代表者である理事・評議員に詳細な運営状況の情報提供の実施 ・市民に主要な運営状況の情報提供の実施(社協だより・HPなど)</p>	
42	財務管理	トップマネジメント力の強化	検討・関係団体との調整	必要に応じ実施	必要に応じ実施	B	<p>経営上の重要な事項については三役会を唯一の検討の場とすることによって、一貫性やスピーディーな決定又責任ある執行体制の確立に寄与することができた。</p> <p>補助金対応の流れに自主財源の確保が低迷しているため、社協本来の自主事業の展開に際し、別途社協会員会費のあり方検討委員会を含め、方針、方向性を見出す。尚、公共債の安全且つ収入益を効率的に組織運営にあてる。</p>	

5. その他

(1) 平成 24 年度会議日程について

回数	日にち	時 間	会 場
第 1 回	平成 24 年 6 月 1 日 (金)	10 : 00	市役所 805 会議室
第 2 回	平成 24 年 9 月 28 日 (金)	15 : 00	市役所 502 会議室
第 3 回	平成 25 年 1 月 18 日 (金)	10 : 00	市役所 801 会議室

平成23年12月～平成24年3月 6圏域の動き及び出された意見等

	日にち	参加会議等	内容および社協の関わり 出された主な意見等
中央	12/6	包括中野エリア ふれあいサロン団体交流会	サロン団体相互の近況報告と情報交換 ・参加者の固定化傾向にある。 ・マンションが増えているが、新旧住民の交流ができていない。 ・曜日ではなく「日にち」を固定したことにより、来れる方が増えてきた。 ・高齢者の見守り活動も意識して開催している。
	1/28	中野町甲和会さくらんぼの会 車いす体験学習	中野町の町会「甲和会」の中で組織されている「さくらんぼの会」(防災や災害時を視点に助け合い活動をするグループ)が車いすの操作、路上走行を行い町の様子を確認した。 ※なお、参加をきっかけに、①小地域福祉活動情報交換会へのお誘い②次年度甲和会の災害マップ改訂への参加など、つながりを深めることができた。
北部	2/14	石川町における共に支え合う地域づくりについての懇談	・町会から声を上げ行政、関係機関等と連携を図って、明るい住みよい町を作っていくべき。(町会理事の課題提起) ・高齢世帯をカバーする(支援や何気ない声掛け、見守り)必要がある。町会の理事に依頼しても負担が多くなり理解が得られない。民生やサロンスタッフなど協力して行動を起こしたらどうか。(町会長) ・高齢者調査を拒否する方もいる。ご近所で情報を上げていただけたら助かる。(民生委員) ・今後目的、活動方針を決め、少しずつ進めていく。
	2/23	丸山町老人クラブとの懇談	・介護保険の改正内容について、包括左入より説明。 ・地域の支えあい活動について、社協より提案。 〈提案内容 …買物支援について〉 ・丸山町の高齢化の状況や地勢(丘の上の造成住宅地)、交通機関の利便性など、日常生活にお困りはないか?例えば、買物など困っていないか?地域の支えあい活動の事例を紹介しながら、参加者との懇談実施。
	2/28	丸山町町会長との懇談	老人クラブとの懇談を経て、民生委員により、町会長と話し合いを持つ。 ・いきいきプランの概要説明。 ・支えあい活動の取り組みについて意見交換。 〈提案内容 …買物支援について〉 ・当地域の高齢者が買物に困っていると見受けられるので、買物支援の仕組みを検討したい。 ・町会長も変わるので、次期町会長に引き継ぐ。
西南部	12/20	包括めじろ・高尾エリア ふれあいサロン団体交流会	サロン団体相互の近況報告と情報交換 ・参加者の固定化傾向。男性参加者が少ない。 ・スタッフ人数の関係で開催回数を増加できない。 ・会場が狭いが、、新たな会場の確保も難しい。
	2/9	包括高尾センター支援会議	出席団体相互の情報交換 ・個人情報に敏感になりすぎているので、見つめ直す必要あり。 ・狭間町では、町会独自に名簿を作成し、震災の時に役立った。救急情報を各戸に提供し、非常時に役立っている。 ・避難所のうち、身障者用トイレ未設置の所があれば、設置を進めてほしい。
	3/19	包括めじろ包括ケア会議	「災害時におけるめじろ台在住の高齢者の避難支援について」をテーマに出席団体相互の情報交換 ・町会単位で防災訓練を実施している。 ・緊急支援対応リストを作成し、自主防会長、町会長、副町会長が保管してる。 ・民生委員が持っている要援護者情報を町会自治会に開示してほしい。

	日にち	参加会議等	内容および社協の関わり 出された主な意見等
西部	3/2 4回	泉町サロン立ち上げ準備会	泉町サロンプレオープン ・老人会も活発だが、気軽に集まれる場は良い。 ・退屈にしているので、気晴らしになる。 ・身近なサロンで介護保険や健康の話をしてもらいたい。
	3/15	包括川口包括ケア会議	地域福祉推進計画の概要説明、社協近況報告
東南部	12/8 2/9	片倉台高齢者見守り ネットワーク運営会議	出席団体相互の情報交換 ・一人暮らしの男性が入浴とその後の飲食のために自宅を開放し仲間作りができたという話しを聞き、ニーズに沿った地域の輪であり広げられればという意見が福祉ネットワークよりあり。 ・社協に対し、会費がどのように使われているか分かりにくい、サロン活動についてメンバーの固定化などへの問題解決へ支援してほしい要望あり。
	12/22 3/21	16-2地区民生委員交流会 (包括片倉センター支援会議)	西片倉町、みなみ野、七国、兵衛、宇津貫町エリア民生委員との情報交換 ・社協会費の使途が分かりにくいとの意見あり ・みなみ野や七国などは、高齢者だけではなく子どもの見守りが必要なエリアである。 ・単身者のアパートやマンションが立ち並ぶが、組合がないところもあり、近所の連携を密にしなければと感じる。
	1/23	16-1地区民生委員交流会 (包括片倉センター支援会議)	小比企町、片倉町(東急片倉台を除く)エリア民生委員との情報交換 ・民生委員から投げかけた個別のケースに関し、その後どうなったかというフィードバックをこのような会の中でしてほしい。 ・地域高齢者福祉に関する情報交換として、消防署の救急隊と包括が意見交換会を行った。
	3/29	包括片倉エリア ふれあいサロン団体交流会	サロン団体相互の近況報告と情報交換 ・男性の参加者が少ない。 ・新たな参加者を誘うのが難しい。 ・市民センターを毎月予約するのが大変。
東部	12/20 1/11 3/7	南大沢住民の拠点作りに 関する相談	・NPO法人どんぐり分校代表のより、南大沢商店街の空き店舗に住民が集まれる拠点を作りたいと相談。 ・横川町住宅自治会の空き店舗活用(サロンや助け合い活動拠点)を視察。
	1/30	包括堀之内エリア ふれあいサロン団体交流会	サロン団体相互の近況報告と情報交換 ・スタッフも高齢化している。 ・スタートしたばかりで住民に広く周知ができていない。 ・住民の中で得意なことを教えあえる機会を設けた。 ・茶話会中心ではあるが、季節ごとにイベント(クリスマス会など)を行い興味をもってもらえるようにしている。
	1/31	包括南大沢エリア ふれあいサロン団体交流会	サロン団体相互の近況報告と情報交換 ・参加者の固定化傾向にある。 ・内容がマンネリ化している。 ・拠点でのサロン活動以外に、旅行などを行った。 ・手書きのお誘いカードをポスティングしている。
	1/25 3/5	包括南大沢センター支援会議	参加団体相互の意見交換 ・民生委員が訪問してもマンションの中まではセキュリティーの関係で入れないこともあるので、この会議で老人会の方と関係づくりができれば連携がとれる面もできると期待する。 ・災害時の救助などについても意見交換をしていきたい。

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 効果・検討すべきこと等	同席
12/6	13:30 ～ 15:30	包括中野エリアふれあい サロン団体交流会 場所:ボランティアセンター	サロン団体相互の近況報告と情報交換 参加団体:6団体 〈課題〉 ・参加者の固定化傾向にある。 ・マンションが増えているが、新旧住民の交流ができていない。 〈アイデア〉 ・曜日ではなく「日にち」を固定したことにより、来れる方が増えてきた。 ・高齢者の見守り活動も意識して開催している。 ・サロン開催場所で野菜を栽培し、売上を運営費に充てている。	包括中野 1名
1/28	14:00 ～ 16:00	中野町甲和会さくらんぼ の会 車いす体験学習 場所:中野町	中野町の町会「甲和会」の中で組織されている「さくらんぼの会」(防災や災害時支援を視点を助け合い活動をするグループ)が車いすの操作、路上走行を行い町の様子を確認した。 〈主な感想〉 ・思っていたより視線が低く、恐怖を感じた。 ・段差や傾斜に車輪がとられ慎重な介助が必要と感じた。 ・利用者の安全を一番に安心して歩行できるよう心がけたい ※なお、この会への参加をきっかけに、①小地域福祉活動情報交換会へお誘いできたこと②次年度甲和会の災害マップ改訂への参加させていただくことなど、つながりを深めることができた。	
2/4	13:30 ～ 15:30	中野上町拠点 サロンの立 ち上げ相談 場所:デイサービス菜の花	中野上町3丁目にあるデイサービス菜の花で、閉所日(土曜日)に地域の方に部屋を使っていたきたいとの申し出があり、サロン開設の可能性について、民生委員や近所の方、近隣のボランティア登録者等と懇談を行った。 ・施設より …地域に開放し交流活動に使っていただきたい。 ・社協より …サロンの効能や運営主体、支援の内容等説明 ・サロン開設の場合は、地元町会や老人会との良好な関係が必要なことから、地元民生委員を通じて、サロン開設の趣旨を話していただくこととした。 ↓ …その後、民生委員が町会へ説明したが、町会として老人会が友愛訪問など活発にしていることなどを例に、消極的な意見が多かったため、当地でのサロン開設は中断した。	包括中野 1名

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 効果・検討すべきこと等	同席
2/14	15:00 ～ 17:00	石川サロン 石川町における共に支え合う地域づくりについての懇談 場所:石川市民センター	<ul style="list-style-type: none"> ・石川サロン終了後、住民同士の支え合う仕組みについて懇談が実施された。 〈出された意見〉 …町会から声を上げ行政、関係機関等と連携を図って、明るい住みよい町を作っていくべき(町会理事の課題提起) …高齢世帯をカバーする(支援や何気ない声掛け、見守り)必要がある。町会の理事に依頼しても負担が多くなり理解が得られない。民生やサロンスタッフなど協力して行動を起こしたらどうか(町会長) …高齢者調査を拒否する方もいる。ご近所で情報を上げていただけたら助かる(民生委員) …今後目的、活動方針を決め、少しずつ進めていく 	
2/23	10:00 ～ 12:00	丸山町老人クラブとの懇談 場所:自治会館	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の改正内容について … 包括左入より説明 ・地域の支えあい活動について … 社協より提案 〈提案内容 … 買物支援について〉 …丸山町の高齢化の状況や地勢(丘の上の造成住宅地)、交通機関の利便性など、日常生活にお困りはないか?例えば、買物など困っていないか? 地域の支えあい活動の事例を紹介しながら、参加者との懇談を実施 …買物、外出については、坂が多いので、苦労している方もいる。買物支援で老人会で何かできないか検討したこともある(老人会長) …社協が講座などを通じて地域からボランティアを募り、皆さんの課題解決に協力していくことができる。 …近隣の久保山町との日常的な交流は?→町会単位でも少ない。老人会は久保山にはない。 	包括左入 2名

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 効果・検討すべきこと等	同席
12/14	14:00 ～ 15:00	上宿サロン 場所:上宿町会館	サロン団体としての支援開始に向けた説明及び打合せ	
12/20	14:00 ～ 16:00	包括めじろ・高尾エリアふれあいサロン団体交流会 場所:ボランティアセンター	サロン団体相互の近況報告と情報交換 参加団体8団体(風の会茶話室、ふれあいサロンけやき、めじろ台安心ネットふれあいサロン、サロンフレンドリー、館町団地さわやかデー、いきいき喫茶ゆりのき、館ヶ丘ふれあいサロン喫茶あけび、サロン上宿) ・参加者の固定化傾向がある。 ・男性参加者が少ない。 ・スタッフ人数の関係で回数を増加できない。 ・会場が狭いが、新たな会場の確保も難しい。	包括長房 2名 包括めじろ 2名
2/9	13:30 ～ 15:00	包括高尾センター支援会議 場所:東浅川保健福祉センター	出席団体相互の情報交換 ・個人情報に敏感になりすぎているので、見つめ直す必要あり。 ・狭間町では、町会独自に名簿を作成し、震災の時に役立つ。救急情報を各戸に提供し、非常時に役立っている。 ・避難所のうち、身障者用トイレ未設置の所があれば、設置を進めてほしい。	包括高尾 4名 包括めじろ 1名
3/19	10:00 ～ 12:00	包括めじろ包括ケア会議 場所:めじろ台会館	「災害時におけるめじろ台在住の高齢者の避難支援について」をテーマに出席団体相互の情報交換 ・町会単位で防災訓練を実施している。 ・緊急時における緊急支援対応リストを作成し、自主防会長、町会長、副町会長が保管している。 ・民生委員が持っている要援護者情報を町会自治会に開示してほしい。	包括めじろ 3名

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 効果・検討すべきこと等	同席
12/2	13:00 ～ 15:00	泉町サロン立ち上げに向けた他サロン見学 場所: 中野町甲和会館	泉町サロン立ち上げに向け、「甲の原サロン」を見学	包括川口 1名
1/27	13:00 ～ 15:00	泉町サロン立ち上げ打合せ 場所: 泉町公社住宅集会室	泉町サロン立ち上げに向けた打合せ ・名称「いずみサロン」に決定。 ・チラシは泉町6町会へ回覧依頼する。 ・3/2にプレオープンする。	包括川口 1名
2/24	13:00 ～ 15:00	泉町サロン立ち上げ打合せ 場所: 泉町公社住宅集会室	泉町サロン立ち上げに向けた打合せ ・プレオープンは4月オープンに向けての確認、来場者の意見を聞く場とする。	包括川口 1名
3/2	13:00 ～ 15:00	泉町サロンプレオープン 泉町住宅団地集会所	泉町サロンプレオープン立会 ・来場者から聞いた意見。 →老人会も活発だが、気軽に集まれる場は良い。 退屈にしているので、気晴らしになる。 身近なサロンで介護保険や健康の話をしてもらいたい	包括川口 1名
3/15	14:00 ～ 15:30	包括川口包括ケア会議 場所: 青陽園地域交流スペース	地域福祉推進計画の概要説明、社協の近況報告 ・社協の実施していることが理解できた。	包括川口 3名

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 効果・検討すべきこと等	同席
12/8	10:30 ～ 12:00	片倉台高齢者見守り ネットワーク運営会議 場所:片倉台自治会館	出席団体相互の情報交換 ・地域包括より事務連絡 ・福祉ネットワークより	包括片倉 1名
12/22	10:00 ～ 12:00	16-2地区民生委員交流会 (包括片倉センター支援会議) 場所:包括片倉会議室	西片倉町、みなみ野、七国、兵衛、宇津貫町エリア民生委員との情報交換 ・社協会費の使途が分かりにくいとの意見あり ・包括片倉の活動状況について ・民生委員の活動状況	包括片倉 5名
1/23	14:00 ～ 16:00	16-1地区民生委員交流会 (包括片倉センター支援会議) 場所:包括片倉会議室	小比企町、片倉町(東急片倉台を除く)エリア民生委員との情報交換 ・包括支援センター増設に伴う情報提供 ・八王子市介護予防の取り組みについて	包括片倉 3名
2/9	10:30 ～ 12:00	片倉台高齢者見守り ネットワーク運営会議 場所:片倉台自治会館	高齢者福祉に関する情報交換 ・サロン活動の内容について社協としてサポートをお願いしたい	包括片倉 3名
3/21	10:00 ～ 12:00	16-2地区民生委員交流会 (包括片倉センター支援会議) 場所:包括片倉会議室	出席団体相互の情報交換 ・包括の増設に伴う情報提供 ・民生委員からの情報提供	包括片倉 5名
3/29	13:30 ～ 15:30	地域包括支援センター片倉 担当区域内 高齢者サロン交流会 場所:台町市民センター	各団体の紹介 6団体 (参加団体:お元気クラブ、お茶のみ水大学、ふらっとサロン、片倉台ふれあいいきいきサロン、みなみ野ふれあいサロン、山田こぶしの会) 情報交換: ・最近成功した会の催しについて ・現状の課題について →男性の参加者が少ない →新たな参加者を誘うのが難しい →市民センターを毎月予約するのが大変	包括片倉 3名

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 効果・検討すべきこと等	同席
12/8	13:30 ～ 15:30	包括堀之内ケア会議 場所: 由木中央市民センター	出席団体相互の情報交換 ・地域情報の共有 ・地域マップの作成	包括堀之内 2名
12/20		南大沢住民の拠点作りに関する相談 場所: ボランティアセンター	NPO法人どんぐり分校代表の小倉さんより、南大沢商店街の空き店舗に住民が集まれる拠点を作りたいと相談あり	
1/11	13:30 ～ 15:30	南大沢住民の拠点作りに関する相談 場所: ボランティアセンター →横川町住宅ワイワイシー	・地域活動の拠点して先進的な取り組みを行っている横川町住宅を南大沢の住民の方4名と見学	
1/19	13:30 ～ 15:30	包括堀之内ケア会議 場所: 由木中央市民センター	出席団体相互の情報交換 ・地域情報の共有 ・地域マップの作成	包括堀之内 2名
1/25	13:30 ～ 15:00	包括南大沢 「介護予防キャンペーン」 報告会 場所: 明日見らいふ	参加団体の意見交換 キャンペーンの参加状況等の報告	包括南大沢 2名
1/30	14:00 ～ 16:00	包括堀之内エリアふれあい サロン団体交流会 場所: 由木中央市民センター	サロン団体相互の近況報告と情報交換 参加団体: 10団体 〈課題〉 ・スタッフも高齢化している。 ・スタートしたばかりで住民に広く周知ができていない。 〈アイデア〉 ・住民の中で得意なことを教えあえる機会を設けた。 ・茶話会中心ではあるが、季節ごとにイベント(クリスマス会など)を行い興味をもってもらえるようにしている。	包括堀之内 3名
1/31	14:00 ～ 16:00	包括南大沢エリアふれあい サロン団体交流会 場所: 由木中央市民センター	サロン団体相互の近況報告と情報交換 参加団体: 8団体 〈課題〉 ・参加者の固定化傾向にある。 ・内容がマンネリ化している。 〈アイデア〉 ・拠点でのサロン活動以外に、旅行などを行った。 ・手書きのお誘いカードをポスティングしている。	包括南大沢 2名
2/1	9:30 ～ 11:00	別所都営第三団地における サロン立ち上げの打ち合わせ 場所: 第三団地集会所	・地域活動の拠点して先進的な取り組みを行っている横川町住宅を南大沢の住民の方4名と見学	
2/2	13:30 ～ 15:30	子育てサロン パンビちゃん広場打合せ会 場所: 由木東市民センター	サロンスタッフ間の情報交換 ・平成24年度の年間スケジュールの確認 ・関係機関への協力依頼	

3/5	13:30 ～ 15:30	包括南大沢 センター支援会議 場所:長池ネイチャーセンター	出席団体相互の情報交換 ・地域情報の共有 ・八王子市高齢者支援課より包括地区割り変更についての説明	
3/7	14:00 ～ 15:00	南大沢住民の拠点作りに関する相談 場所:ボランティアセンター 南大沢分室	・公社へ家賃無料の依頼ができないか ・シルバー交番事業を受けることはできないか	
3/15	13:30 ～ 15:30	包括堀之内ケア会議 場所:由木中央市民センター	出席団体相互の情報交換 ・地域情報の共有 ・地域マップの作成	包括堀之内 2名